



三重県総合博物館 愛称発表のお知らせ

新しい三重を牽引するために

新しい時代を生きるすべての人たちのために

2013 年 8 月 12 日

三 重 県

三重は、日本の自然と歴史・文化のるつぼとも言える

豊かな多様性を持つ地です。

その多様性の持つ力を凝縮した新しいミュージアムは、

それぞれの人の多様な価値観と反応し、

今を生きるみなさんが

より良い未来を切り開く力を生みだす

新しいあり方を模索してきました。

わたしたちの解答、それは

〈明日を生み出す力〉

三重に根ざし、日本へ、さらに世界へ。

ふるさとや自分自身、今を取り巻く社会、

そしてより良い明日を、

わたしたちはみなさんと考え続けます。

いざ開館へ！「三重の夢」を育む新しい拠点

MieMu

み え む

2014.4.19 OPEN!

2014（平成26）年4月19日、三重県総合博物館が開館します。

いよいよ開館準備も最終段階を迎え、

全国から応募をいただいた1,061件もの愛称の中から、

「MieMu（みえむ）」を選定しました。

（最優秀賞受賞者：松阪市・中北 なかぎた 裕子 ゆうこさん）

〈愛称・ロゴマーク〉——コミュニケーションを拓く



●愛称・ロゴマーク

MieMu (みえむ) は、「三重 (Mie) のミュージアム (Museum)」の造語で、覚えていた

だき易いものとなりました。また、“みえむ”という音は「三重の夢」にも通じます。

この愛称が強調されるよう、シンプルなデザインのロゴタイプとしました。

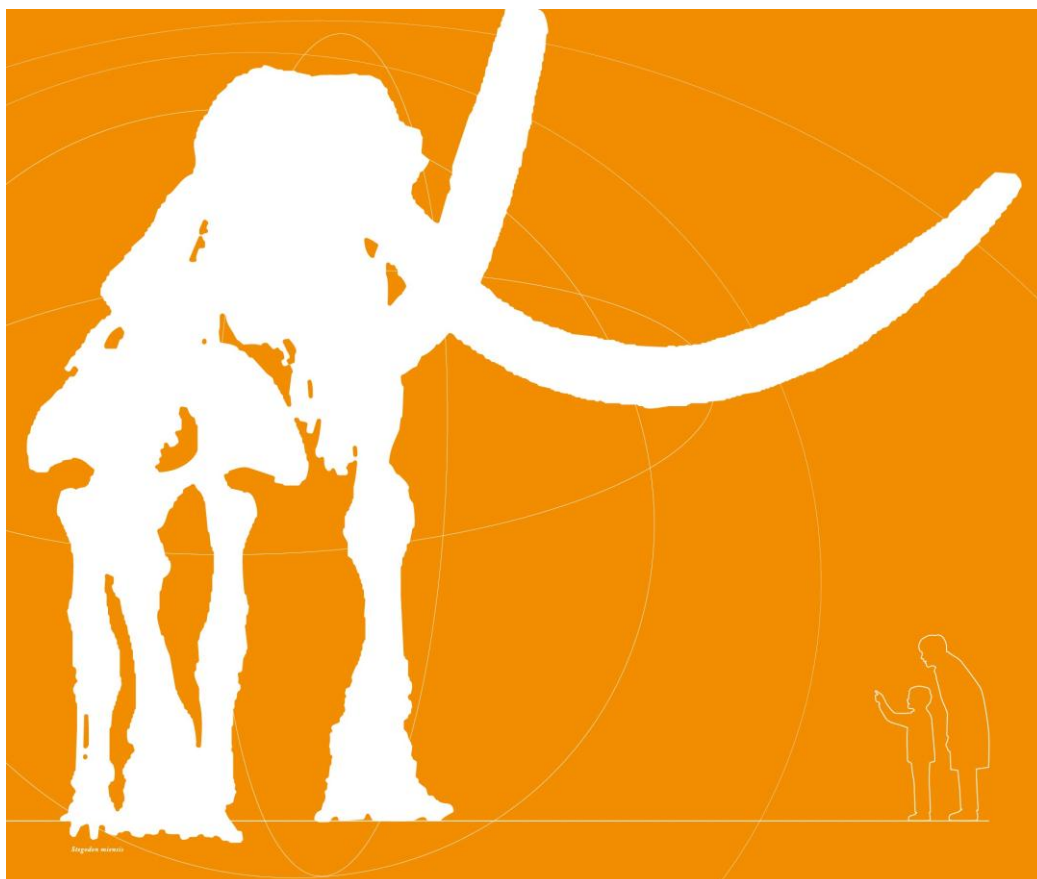
〈テーマカラー〉 ― コミュニケーションを誘う



●オレンジ

「対話が生まれる色」「人が集うあたたかな色」「未来を照らす色」として、テーマカラーをオレンジとしました。MieMu（みえむ）のコンセプトをイメージできる色として、オレンジをポスターやグッズとして展開していきます。

〈コミュニティシンボル〉——人と人とを繋ぐ



●ミエゾウ

「ミエゾウ」は、学名を *Stegodon miensis* (ステゴドン ミエンシス) と名付けられた古代のゾウで、全長7.5m 体高は4mと、日本国内で発見された陸上哺乳類では史上最大の生きものです。

MieMu(みえむ)の交流創造エリアでみなさんをお出迎えするミエゾウの全身骨格標本は日本初。MieMu(みえむ)の建設現場を、みんなで一緒に発掘しました。

〈ミエゾウで広がる輪〉——さまざまなミエゾウの姿

■開館記念公式ポスター：小田 隆氏/Oda Takashi

《小田 隆氏のプロフィール》

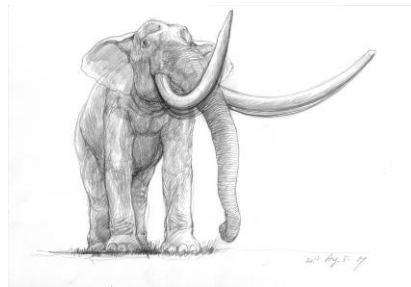
1969年 三重県津市（旧久居市）に生まれる。

1995年 東京芸術大学美術研究科修士課程修了。油画・壁画を専攻。

1996年 恐竜化石の組み立てに参加したことをきっかけに、復元画の制作を開始。

1998～現在 博物館の展示グラフィック、図鑑の復元画、絵本など多数制作。

科学的な知識と、卓越した描写力を融合した恐竜や古生物復元画の第一人者として活躍。



■ミエゾウ絵本：あべ 弘士氏/Abe Hiroshi

《あべ 弘士氏のプロフィール》

1948年 北海道旭川市に生まれる。

1972～1996年 旭川市旭山動物園に飼育係として勤務。

働きながら絵の制作を行う。

1996年～現在 旭山動物園を退職し、制作活動に専念。

動物に関する知識と愛情に裏打ちされた作品は、大らかでユーモア溢れる表現で人気を博している。



〈MieMuってこんなところ〉—— 県民のみなさんへ

いつでもそばにみんなのMieMu

- MieMuは子どもたちの「好奇心のエンジン」です

MieMu（みえむ）は、「明日を生み出す力」によって、三重に暮らす子どもたちの様々な可能性を引き出します。子どもたちの好奇心は、それぞれ違っていて、その多様な考え方を自由にはばたかせることができる場が、ミュージアムです。MieMu（みえむ）はひとりひとりの好奇心に寄り添い、子どもたちのワクワクドキドキを育てます。

- MieMuはもっと三重が知りたくなる「まるごと図鑑」です

日本は南北に長く、西と東で独特の文化があります。三重はまるで日本の縮図のように、東西南北の特徴が混じり合ったとても珍しい場所であることを、ミュージアムの資源やモノの見方を通じて発信していきます。その面白さを、MieMu（みえむ）の活動を通じてみなさんと一緒に見つけ、そして次の世代へと手渡していきます。

- MieMuは地域とともに成長する「知のパートナー」です

MieMu（みえむ）では、三重の自然と歴史・文化を探究していきます。その研究によって導き出された成果は、学術的な活動に留まるものではありません。MieMu（みえむ）で生み出される知を活かして、地域がもっと元気に、暮らす人がもっと笑顔に、そんな三重をみなさんと一緒につくります。

〈MieMuってこんなところ〉—— 全国のみなさんへ

三重からグローバルな新風をおくります

- 実はそれ、ぜんぶ三重なんです！

三重と聞いて、皆さんは何を思い浮かべますか？伊勢神宮や熊野古道、伊賀忍者、でも三重の魅力はそれだけではありません。たとえば古くから続く海女、実は全国で一番人数が多いのは三重県なのです。

その他にも、隠れた日本一や「実はそれ…」というものがたくさんあります。MieMu（みえむ）は皆さんと一緒に、まだまだ知られていない三重の魅力や面白さを解き明かしていきます。

- 日本のモザイク、三重の持つ多様性の力

南北に長い日本、三重はまるでその縮図のような形をしています。南北の生きものが集まり、古代から現在まで東西の人々が行き交う地である三重。

MieMu（みえむ）は、その三重の持つ多様性の力を、日本中に発信していきます。

- 三重を知る、日本がみえる

三重は日本ならではの伝統文化や、豊かな自然環境が凝縮しており、日本の縮図とも言える地です。自然を敬い、その懷に抱かれて育まれてきた歴史と文化、そしてそれらを受け継ぐくらしが息づく三重は、日本の心のふるさとと言える場所です。

日本を訪れるなら、まず MieMu（みえむ）へ、そして三重へ。日本の玄関として、世界中の人をもてなします。

〈MMMプロジェクト〉—— みんなでつくるミュージアム展開中！

● 思い出ミュージアム

MieMu (みえむ) の外壁に、みなさんの思い出を残します。それぞれの想いをタイルにのせて、色とりどりの思い出たちがMieMu (みえむ) を彩ります。



● いわしプロジェクト

新しい基本展示室「熊野灘の自然」コーナーで、みんなで作ったイワシの大群が元気に泳ぎます！



〈施設概要〉 ― 環境と調和した建築



博物館施設として、全国初となる建築環境総合性能評価システム「CASBEE」Sランクを取得しました。（太陽光発電、地中熱を利用した空調システム等）

- 敷地面積 37,793㎡（延べ面積 10,779㎡）
- 鉄骨鉄筋コンクリート造（一部を除く）3階建て

〈文化交流ゾーン〉 ― 文化の丘が動き出す



県立美術館、県総合文化センターに近接し、文化ゾーンとして一体感のある取り組みを目指します。

（所在地：津市上浜町6丁目・一身田上津部田地内 三重県総合文化センター向い）

〈利用案内〉 — さあ、MieMuへ

■休館日

- ・ 毎週月曜日（祝日の場合は翌日）
- ・ 年末年始（12月29日～1月3日）
- ・ 別途定める日（特別休館日：くん蒸など）

※例えば、夏休み期間や他館と連携した休館日の特別開館など、柔軟に対応予定

■開館時間

- ・ エントランスエリア、交流創造エリアなど、来館者の活動エリア

[休館日を除く全日] 9時～19時

- ・ 展示エリア

[火～金] 9時～17時

※例えば、ゴールデンウィークや夏休み期間等の多客時は開館時間を延長するなど、

柔軟に対応予定

[土、日、祝] 9時～19時

■観覧料等

- ・ エントランスエリア、交流創造エリアなど、来館者の活動エリア

無料

- ・ 展示エリア

		基本展示 観覧料	企画展示 観覧料	セット券 (基本展示と企画 展示を観覧可能)	年間 パスポート券
当 日 券	一般	500円	その都度定める	基本展示+企画展示 料金の2割引	1,600円
	高校生以下	無料	その都度定める (無料を基本)	設定なし	設定なし
	学生(大学、 各種専門学校 等)	300円	その都度定める (割引を基本)	基本展示+企画展示 料金の2割引	1,000円
	障がい者及び その付添者	無料	無料	設定なし	設定なし
	学校、児童福祉 施設としての 利用	無料	無料	設定なし	設定なし
	県民の日の 記念事業の日	無料	正規価格	設定なし	-
	家庭の日 (毎月第3日 曜日)	正規価格の 2割引	正規価格の 2割引	正規価格の 2割引	-
	団体割引 (20名以上)	正規価格の 2割引	正規価格の 2割引	正規価格の 2割引	設定なし
前 売 券		設定なし	正規価格の 2割引	正規価格の 2割引	設定なし

〈メッセージ〉——ミュージアムづくりへの思い

人は、何かを知ること、驚き、心が躍ります。

また、人は、何かに気づくことで、力がわき、前向きな気持ちになります。

わたしたちは、このミュージアムをあなたに小さな驚きの連続を提供し、感性や創造性が刺激されるような場所にしていきたいと考えています。

そして、世代を超えた仲間とともに、

ひとつのことに夢中になれる、

互いにつながり、挑戦できる、

そんな地域に開かれたプラットフォームになりたいとも考えています。

さらに、活動を通して、

自分の住む地域が好きになり、

友とともに明日を生きる力が湧いてくるような場所になればと思っています。

「Your Museum」

わたしたちが、ここを訪れる人へかける言葉です。

ここは、あなたのための場所です。

そして、ここに集まる一人ひとりにとって、

「My Museum」となり、

さらには一人ひとりの想いを結集し、

ともに作りあげる「Our Museum」へと成長するのです。

それが三重の新しいミュージアム「MieMu」です。

新博物館 愛称は「MieMu」に

最優秀賞を受賞した中北さん(左)と鈴木知事。津市一身田上津部田、同市上浜町6丁目の県総合博物館で



中北さんが「名付け親」

来年四月十九日に開館する県総合博物館の愛称(館)の造語。公募したが「MieMu」に決定。ところ県内外から二千六十二件、津市上浜町六丁目の県総合博物館で発表された。鈴木英敬知事が十一件の応募があり、松阪市桜町の中北裕子さん(四九)の作品を選んだ。「みえむ」という音が「三重の夢」に通じる「MieMu」は「三重の」とし、未来への夢を持つ

テーマカラー「オレンジ」／シンボル「ミエゾウ」

ような博物館になりたいたいという思いも付いた。併せて、テーマカラーをオレンジとし、シンボルを三重からその名が付いた古代のゾウ「ミエゾウ」にすることも公表。鈴木知事は「あと半年となったオープンに向けて、みえむが第一歩を踏み出す。多くの人に知ってもらえるよう、情報発信を頑張りたい」と意気込みを語った。

この日は、愛称の最優秀受賞者表彰式も実施。知事が中北さんに賞状と副賞を贈呈した。中北さんは「気軽に考えて応募させていただいたが、こんな事になって驚いている」と話しながら、「たくさんの方に足を運んでいただけたら博物館になってほしい」と期待を寄せていた。

博物館は延べ床面積一万七千七百七十九平方メートル、鉄骨鉄筋コンクリート造三階建て。展示の目玉はミエゾウの実物大骨格標本など。観覧料は基本展示が一般五百円、学生三百円、高校生以下が無料となる予定。

議長に中島氏 副には山本氏

松阪市議会

【松阪】松阪市議会臨時議会は十二日開会し、改選後の初の新議長選を実施。議長に中島清晴氏(五九)市



中島清晴議長



山本芳敬副議長

山本芳敬氏(五七)真政クラブを選んだ。任期は申し合わせて一年。

議長選には中島氏と久松倫生氏(六〇)共産党が立候補。投票結果は中島氏が二十三票、久松氏が五票だった。中島氏は議場で「決断のできる議会を目指したい」と抱負を述べた。

また、副議長選には山本氏と今井一久氏(五九)共産党が

海上救助部隊も参加

来月の県総合防災訓練で

七里御浜海岸で九月一日に実施する県・熊野市・御浜町・紀宝町総合防災訓練で、自衛隊と連携して海上からホバークラフトのエアクッション艇「エルキャット」(全長約二十四メートル、幅約十三メートル)を使い、救助部隊を揚陸する訓練を実施する。鈴木英敬知事が十二日の定例記者会見で発表した。

海上自衛隊の輸送艦「しもきた」に搭載したエルキャットに、陸自や県警の指揮車と、中部地方整備局の災害対策車を載せ、救助部隊として靖国神社に参拝すると話した。同日は日本武道館での全国戦没者追悼式に公務で出席する。

鈴木知事は、「今のわれわれと日本が平和と繁

私人として

新県総合博物館の愛称

「MieMu」に決定

来年4月開館

県は十二日、来年四月十九日に開館する新県総合博物館の愛称を館内で十二日、鈴木英「MieMu（みえむ）」と発表した。

「三重のミュージアム」から取った松阪市桜町の中北裕子さん（四七）の案で、県内外から寄せられた公募作品を「三重の夢」の意

重県総合博物館 愛称表彰式



新県総合博物館の愛称「MieMu（みえむ）」に込めた思いを語る中北裕子さん＝津市で

味も込めた」と解説し「過去のもの展示するだけではなく、より良い未来への力を生む

営業拠点「三重テラス」

来月28日開業

ロゴ公開、PR強化へ



MIE TERRACE

県の首都圏営業拠点「三重テラス」のロゴマーク

鈴木英敬知事は十二日の定例会見で、東京・日本橋の首都圏営業拠点「三重テラス」の開業が九月二十八日に決まったと発表した。

記念式典を開き、首都圏からの観光誘客と物産品の販路拡大を目指す。鈴木知事は「伊勢神

宮の式年遷宮で誘客は好調。一過性で終わらず、地域の潤いにつながるためのきっかけとしたい」と語った。三重テラスのロゴマークも合わせて公開。開業日に向けてPRを強化し、九月六・八日には東京二十三区内のショッピングセンター

ための博物館とした」と述べた。新博物館は津市一身田上津部田の県総合文化センター隣にあり、県内で初めて化石が発掘された国内最大のゾウ「ミエゾウ」の全身骨格標本などが展示の

目玉。パンフレットなどに用いるロゴマークには、イメージカラーのオレンジ色の下地に「MieMu」の文字と、ミエゾウの骨格のイラストがあしらわれた。（安藤孝憲）

事件事故



津で2軒全焼

日午前2時ごろ、津市河芸町一色の無職佐藤久雄さん（82）と東隣の電気工事作業員エバシリヲナ・プレサナさん（48）方から出火し、ともに木造平屋の



炎を上げて激しく燃える住宅＝津市河芸町一色で（読者提供）

佐藤さん方約80平方メートル、プレサナさん方約90平方メートルを全焼した。津署によると、佐藤さんは妻康子さん（76）と2人暮らし。プレサナさんは1人暮らしで、いずれも逃げて無

事だった。

津署は不審火の可能性もあるとみて調べている。

松阪で空き家が燃える

12日午後3時50分ごろ、松阪市中万町の空き家＝東京都小金井市の富山和子さん（75）所有＝から出火。木造平屋の母屋や納屋などを焼き、同日夕に消し止めた。

松阪署は、敷地内の庭から火が出て、建物に燃え移ったとみている。20年以上前から空き家だったという。

●鈴鹿の工場で火災 11日午後2時ごろ、鈴鹿市平田町のホンダ鈴鹿製作所で、集じん

の引き出しで、名張東三番町販売業の速捕容

日午後3

阪市笹川

宅に

の引き出

り線、

が強風

に

座の東

インター

で苦労した」と話している。解体した。

10日午後

倉庫から

焼けた。

と、倉庫

町、無職

ん（80）の

などを置

火原因を

●窃盗

松阪、大

合同捜査

で、名張

東三番町

販売業の

（62）を逮

捕容

日午後3

阪市笹川

宅に

の引き出

り線、

が強風

に

座の東

インター



トラックの横転事故で通行止めと名阪自動車道下り線＝12日午後3時、桑名市で、本社ヘリ「あやづる」

愛称は「MieMu」

「三重の夢」込める、県民参加が柱

県は12日、津市の県総合文化センターの隣接地に建設されている「新県立博物館」の愛称について、「MieMu」と発表した。敷居が高くなく、「誰でも使える場」（布谷知夫館長）を指し、来年4月の開館に向けて、展示の準備が進められている。



新県立博物館の外観―津市上浜町6丁目

「MieMu」は、三重（Mie）のミュージアム（Museum）の造語で、「みえむ」という読み方は「三重の夢」という意味が込められているという。松阪市の中北裕子さん（49）の案が、全国1061件の中から選ばれた。

新博物館は鉄骨鉄筋コンクリート3階建てで、壁一面が窓で日光が差し込み、明るく開放的な雰囲気となった。展示スペースは約1800平方メートル、津市広明町にある旧博物館の約6倍の広さになる。

「県民参加型の展示」を新博物館の柱の一つにした。

県新博物館整備推進プロジェクトチームの山崎章弘さん（43）によると、これまで、博物館側が一方的に学術的な物を紹介してきた。だが、今後は「県民の皆さんから地域の写真を集めてスライドショーを作るなどして、三重の暮らしを紹介したり、展示品の一部を県民に作ってもらったりしたい」と話す。

基本展示では、県内の自然や人物などを映像や写真などで紹介する。企画展示などでは、三重の魅力や様々な視点から発信したり、全国巡回展や大学などの他機関との連携も実施したりする予定。ミエゾウや恐竜の展示や伊勢神宮の式年遷宮関連の催し、博物館にある資料で三重をより知ってもらう展示を予定しているという。

松阪の中北さん命名



新博物館の愛称を名付けた中北裕子さん（左）と鈴木英敬知事。津市の県総合文化センターに建設されている新県立博物館。

子ども向け展示室も

「博物館は敷居が高い」というイメージを払拭する（布谷館長）ため、「子ども体験展示室」を作ったり、一般の人の参加型イベントを開館前から開いたりして門戸を広げる。山崎さんは「開館後は、食べ物やおもちゃをテーマにした柔らかい企画もしていきたい」と話す。

すでに、新博物館内の見学や、新博物館の外壁に張り付けられるタイルに思い思いの絵や字を書くイベントが開かれていた。参加者は15坪四方のシートに専用のクレヨンで絵などを描き、これをタイルに焼き付ける。計1200枚のタイルを外壁に張る予定という。

旧博物館は老朽化し、2007年10月から休館している。今年で築約60年になる建物は、建築基準法より厳しい県の公共施設の耐震基準を満たしていなかった。（緒方雄大）

メガソーラー 鈴鹿に建設へ

NTT子会社

エネルギー関連事業を手がけるNTT子会社のNTTファシリティーズ（本社・東京）が、鈴鹿市南玉垣町の「NTT鈴鹿研修センター」跡地の一角に、大規模太陽光発電所（メガソーラー）の設置を計画していることが分かった。市が9日、市議会各派代表者会議に報告した。

計画によると、同社はN

野口みずき選手の粘り、後輩に刺激

モスクワで開出場した女子マラソン選手、野口みずき。粘り強い走り、自分も日本代表を目指した。33歳の地を伝えられ、日本一と声を打ち鳴らした。伊勢度会陸上は「精神力と根手でも棄権したかったんだと思復活を目指した」。

出場した女子マラソン選手、野口みずき。粘り強い走り、自分も日本代表を目指した。33歳の地を伝えられ、日本一と声を打ち鳴らした。伊勢度会陸上は「精神力と根手でも棄権したかったんだと思復活を目指した」。

企画展を開く。
一方、9月6～8日には
東京23区内などの総合スー



ロゴを前に「三重テラス」のオープンについて説明する鈴木知事

パー「イオン」12店で「三重県フェア」を実施し、一部の店で三重テラスで扱う商品を先行販売する。
ロゴは「シンプルでデザインがいいと考えた」（鈴木知事）といい、「三重」の文字が一目でわかるようなデザインを目指したという。
鈴木知事は会見で、「関西、中部圏とは別の場所からの観光客を増やすため、今後は三重テラスを中心に首都圏での情報流通量を増やしたい」と期待を語った。

愛称「MieMu」 県総合博物館

県は12日、来年4月19日に開館する県総合博物館の愛称が「MieMu」（みえむ）に決まったと発表した。
愛称公募には全国から1061件の応募があり、松阪市桜町の表具店手伝い、中北裕子さん(49)の作品が選ばれた。



賞状と目録を受け取った中北さん

内装工事が進む館内で愛称発表会が開かれ、出席した中北さんは「三重(Mie)のミュージアム(Museum)から取った言葉」と説明。県は、言葉の響き



孵化し、海に向かう子ガメ(米川さん提供)

アカウミガメが白塚海岸で孵化

市民団体確認
津市白塚町の白塚海岸でアカウミガメが孵化するのを、市民グループ「白塚の浜を愛する会」のメンバーが確認した。
同会の米川弥寿代さん(51)によると、7日午後8時40分頃、同会メンバーが見守る中、約80匹の子ガメが砂の中から折り重なるように出て来て、海に向かったという。
今年5月下旬に地元住民がアカウミガメの産卵を見つけ、同会が産卵場所の観察を続けていた。
米川さんは「子ガメが孵化したのを見つけても触ったり光をあてたりせず見守ってほしい」と話している。

議会だより 12日

松阪市 臨時会を開き、議長に中島清晴氏(56)（4期目）、副議長に山本芳敏氏(57)（3期目）を選んだ。正副議長は1年で交代することを申し合わせている。

バス
も完備
5555

1ケースに亀裂入りの減速して山川向け中(8盛秋)調査中群見えず夜半より屈辱くなり支え中

交野球選手権大会

目出場!! 三重県代表 高等学校

第2試合
学校(熱煙)



うない
三重高等学校 校長 垂髪 隆一

夏の甲子園出場は4年ぶり11回目です。これも皆様の温かいご支援の賜物であると、衷心よりお礼申し上げます。県大会は厳しい戦いでしたが、試合を重ねるうちに、選手たちは私たちの予想を越えるほどの逞しさを身につけ、一戦ごとに強くなっていくようでした。春の悔しさをバネにし、チームが一丸となって日々の厳しい練習に耐え、大きく成長してくれたからだと思います。
三重県の代表として、選ばれてあることの大きな誇りと謙虚な心を持って、校訓「真剣味」のもと、さらなる精進を重ねてくれるものと信じています。
甲子園での勇姿を皆様とともに楽しみに待ちたいと思います。一層のご支援とご声援をお願い申し上げます。

中北勢

MIE
mie@mainichi.co.jp

津支局

〒514-0006
津市広明町349
の2
☎059(226)2211
FAX059(225)7081伊勢支局
〒516-0037
伊勢市岩淵1の
15の28
☎0596(24)1234
FAX0596(21)0174四日市支局
〒510-0064
四日市市新正4
の19の31
☎059(353)6451
FAX059(359)2065名張支局
〒518-0621
名張市桔梗が丘
1の6の84の1
☎0595(65)9161
FAX0595(65)9163桑名通信部
☎0594(22)3350
FAX0594(24)1400
鈴鹿通信部
☎059(383)8311
FAX059(383)8288松阪通信部
☎0598(28)5011
FAX0598(28)2310
鳥羽通信部
☎0599(25)2059
FAX0599(26)2058尾鷲通信部
☎0597(22)7043
FAX0597(22)7043
伊賀駐在
☎0595(21)3251
FAX0595(21)3250

広告

三重毎日広告社
☎059(225)6111

MieMu 二里示秘口行物館



賞状を手に記念撮影する中北裕子さん(左)＝県総合博物館で

【田中功一】

1061件の応募の中から松阪市桜町の表貝店手伝い、中北裕子さん(49)の作品を選んだ。Mie(三重)のMu(ミエゾウ)とすることも発表した。ミエゾウは、国内で発見された陸上哺乳類では史上最大の生き物で、博物館建築中に350万年前の地層から足跡化石が見つかった。同館では、その全身骨格標本が全国で初めて展示される。

県総合博物館の愛称

「MieMu」に

三重(Mie)の博物館(Museum)

津市に来年4月19日開館する県総合博物館の愛称が「MieMu」(みえむ)に決まり、発表会と館内見学会が12

シンボルは古代ゾウ

「ミエゾウ」

日行われた。

同館のコンセプトを「明日を生み出す力」、テーマカラーを明るく温かなオレンジ色、シンボルを古代のゾウ「ミエゾウ」とすることも発表した。

三重テラスは 来月28日開設 地酒PRイベントも

東京・日本橋

県が東京・日本橋に整備中の首都圏営業拠点「三重テラス」の開設日が9月28日に決まった。鈴木英敬知事が12日、三重テラスのロゴのデザインと併せて発表した。県は、開設日の前後に各種イベントを実施する。

分かりやすさを重視した三重テラスのロゴ



MIE TERRACE

時半に「三重ナイト」を開催し、県内の地酒をPR。また、同6、8日はイオン品川シーサイド店など東京23区内のイオン12店舗で「三重フェア」を行い、拠点での取り扱い商品を先行販売する。

三重テラスでは開設日の28日、鈴木知事も出席してオープニングセレモニーを実施。10月12日まで、伊勢神宮の式年遷宮をテーマとした企画展を開催するのをはじめ、県内各市

町や観光商工団体と連携し、観光PRイベントや、三重の伝統文化・歴史に関する企画展やセミナー、伝統産業や地場産業を紹介する展示会、商談会などを順次開催する。

また、野球好きの古川さんが無重力の船内で打球と打撃、捕球を一人で行なう「一人野球」の映像が流れると、会場に詰めかけた小中学生から笑いが起こった。その後、古川さんの宇宙飛行士への道のりなどが紹介された。

セミナー前に行われた田中俊行市長との懇談では、ブルーの訓練服を着た古川さんが宇宙滞在を振り返って「貴重な経験ができました」と話した。田中

「事業所支援」津市労働安定センター(0556223

情報

全日本学生音楽コンクール名古屋大会

三重の夢「Mie Mu」

シンボルカラーや ポスターも発表 県立博物館の愛称決まる

来月4月19日に開館する三重県総合博物館の愛称が決まり、鈴木英敬

知事が12日(月)、整備中の博物館で発表し、授賞式が行われた。愛称は



全国公募の1061件の中から選ばれた松阪市の中北祐子さんの「Mie Mu(みえむ)」。三重県博物館「MieMu」のシンボルカラーを「ミエム」の青とし、「MieMu」のコンセプトをイメージできる色としてポスターやグッズで展開する。

「ミエム」は学名「スエド・ミエム」の名付けられた古代象。全長7メートル、体高4メートルの史上最大の陸上哺乳類。日本初の全身骨格標本が来館者を迎える計画。

開館記念公式ポスターを描く小田さんは津市久居出身。博物館の展示グラフィックや図鑑の復元画、絵本なども多数制作。恐竜や古生物復元画の第一人者。

旭山動物園出身の絵本作家・あべ弘士さんの「ミエム絵本」も制作される。授賞式では、鈴木英敬知事から表彰状と副賞が贈られた。中北さんは「気軽に考えて応募して、こんな大変なことになって驚いています。たくさんの方が来てくれる博物館になってほしい」と笑顔で話した。

新博物館は鉄筋コンクリート3階建て。外観建築がほぼ終わり、内部の整備が進んでいる。26年4月19日の開館に向けて、県民参加の多彩なイベントが予定されている。

の北村清司社長が16日(金)、前葉泰幸津市長を敬意訪問した。同社は平成21年、津市商工会議所から地元会員企業で新製品開発や事業革新、地域振興

vol. 39
ナカノ 歯科の
ちよつと気になる
情報室



中野天子 院長

歯のクリーニング

「歯科衛生士 西浦麻友」

「歯む」ことに関しての続きは次回です。当医院好評のPMTCについて、チーフ衛生士の西浦が皆さんにお伝えし

なんといつても終わった後の爽快感は「やばいプロ！」と、皆さんに大好評です。痛いところがない

ホームページをご覧ください

検索

フォトジャーナリズム展三重2013

23日〜28日 津センターパレス

フォトジャーナリズム展三重2013「見つめよう、私たちの生きていく世界」が23日(金)〜28日(水)、津市大門の津センターパレス地下市民オーブンステージで開かれる。時間は午前10時30分〜午後7時

最終日は午後5時30分まで。日本の原発が輸出され

展示する。期間中の25日(日)午後1時30分から、小原一真報告講演会「ベトナム、フクシマから」がある。入場無料。問い合わせは電話059(229)3078。



貝の化石はイガタニシだつ
新博物館で標本の「同定」

八月

買物に三匹取ったホテルをさがして、思いのたけを出る道すに、入れ家に持ち帰り、明て全校の生徒がらに、りを消した廊下の隅に置ように言われ